

うるま市立高江洲中学校
学校だより
2017年度 第6号
発行:校長 比嘉 政宏



同志小

「同志小(どうしぐわあー)」とは
同じころざしをもった仲間(友達)が集
まった学校を目指すという意味です。

地区陸上 地区駅伝 なかきすフェスタ 実りの秋に

10月というのに昼間の気温は連日30度越えという恐ろしい暑さです。花壇に植えた秋向けの草花ペゴニアもその暑さに耐えられず枯れてしまいそうです。逆に、夏場用のマツバボタンやニチニチソウは未だに咲き誇っています。でも、朝夕は心地よい風が吹き、季節は確実に秋に向かっていくことを実感できます。さて、秋は何をやっても充実すると言われるかもしれませんが、学校でも子どもたちは多くの行事に取り組みます。先月行われた「地区陸上競技大会」や、今月実施予定の「なかきすフェスタ」、今や伝統となっている吹奏楽部定期演奏会、そして地区駅伝大会など、校内外で子どもたちは積極的に活動します。保護者の皆様にも、ご多忙の中ではありますが、子どもたちの頑張りや声援を送っていただきたいと思います。

地区ロボットコンテスト

9月16日、桑江中学校にて中頭地区中学校技術・家庭科研究会主催の第10回創造アイデアロボットコンテスト中頭地区中学生大会が開催されました。本校からは技術部が参加し、活用部門で3年生の久高太陽さんが審査委員特別賞を受賞しました。本当におめでとうございます。久高さんは、11月3日に開催される県大会に出場する予定ですので、活躍を期待したいと思います。



父親の会

9月26日、本校父親の会事務室にて、定例会が開催されました。参加人数は10名程度でしたが、宇良会長を始めとする役員やOB会員の皆様、各学年代表教師、そして川田駐在所の島袋勝巡査部長にも参加していただき活発な協議がなされました。議題としては、学校の現状や子どもたちの様子などの情報交換と、うるま市祭り等の巡視計画や今後の活動についてでした。生徒の状態は全体的に落ち着いているように見えるが、問題傾向にある生徒も複数いるなどの報告があり、今後も、お互いの情報を共有し、学校・家庭・地域の目で、大事な子どもたちをしっかりと見守っていくことが確認されました。



先月本校出身の4名の大学生が教育実習を実施しました。本人たちの中学校時代の思い出と重ね合わせながら、子どもたち共に充実した学校生活を送ったと思います。ぜひとも教員となって学校現場での活躍を期待するところです。

教育実習

実習生として母校に戻れたことをうれしく思ったのと同時に、今度は先生として授業をすることに、ちょっと不安な面もありました。でも、どのクラスも授業に真剣に取り組んで、積極的に発言をしてくれるなど生徒に支えられた3週間でした。担当した学級の生徒はもちろん、他の学級の生徒とも関わることができあつという間に終わってしまい、とても寂しく思います。



安座間美都



7年ぶりの母校は校舎はきれいで、生徒たちも明るくとてもいい学校になったと思いました。私は嘉陽 宗大 2年3組の学級と2年生男子、3年生女子の保健体育を担当しました。はじめは緊張しましたが、生徒たちが気軽に声をかけてくれたり、先生方がアドバイスをくれたりしたことで楽しく教育実習を過ごすことができました。教育実習で学んだことや楽しかった思い出を糧に、努力し必ず教員になろうと思いました。



私は高江洲中の生徒や先生方に恵まれ、とても充実した学びの多い実習生活を送ることができました。主に1-1、2-4、5の英語を受け持ちましたが、どのクラスも積極的に、笑いのある楽しい時間になりました。3年生との関りは少なかったですが、「先生～」と何度も呼び片手を上げて挨拶してくれる男の子が印象的でした。男子テニス部を見学した時は「先生、明日も来る？」と歓迎してくれて嬉しかったです。真剣に打ち込む姿を見て、それをサポートしてあげられる先生になりたいと思いました。

宮城 鈴歌



2週間という短い時間でしたが、母校である高江洲中で実習をさせていただきました。担当教科は音楽で、全クラスと関わる機会を得ることができました。元気な1年生、沢山話してくれた2年生、落ち着いた3年生、どの学年も魅力的でした！沢山関わることができ、本当楽しい、そして勉強になった日々でした。特に研究授業をさせていただいた1-1さんには本当にお世話になりました。ありがとうございました。

大城真衣子

校内意見発表会

9月13日(水)6校時、本校体育館にて校内意見発表会を実施しました。各学年代表6人による意見発表が行われ、10月18日に開催予定のうるま市意見発表会への男子の部に3年生大城慧也さん、女子の部に2年生の脇田涼羽さんがそれぞれ代表として選出されました。6人の発表者は自身の体験や学習した事に対する自分の考えや意見を堂々と発表していました。また、他の生徒の聞く態度もよく、一人一人の発表に真剣に耳を傾け、配布された審査用紙にそれぞれの評価をしっかりと書き込んでいました。(1年)男子 シャー世音都「身近にある幸せとは何だろうか」女子 嘉陽田マミ「ペンキョウ」(2年)男子 森園航大「亡き人に伝えるありがとう」女子 脇田涼羽「言葉の力」(学校代表決定)(3年)男子 大城慧也「未来に残すもの」(学校代表決定)女子 山城萌々奈「外国人と関わって」



地区陸上競技大会

9月20日、県総合運動公園陸上競技場にて、中頭地区中体連陸上競技大会が開催されました。子どもたちは大会目標を総合8位とし、全校体制で練習に励みました。その結果、総合得点では昨年度の9位を上回りましたが、順位では総合11位という結果となりました。雨天のため30分間の中断がありましたが、選手団は集中を切らずに、最後まで全力を出し切りました。また、応援団の皆さんも、大きな声で校歌等を歌い選手を勇気づけていました。保護者の



皆様には、お子様の送迎や応援にご協力いただき心より感謝いたします。ありがとうございました。

飲酒運転根絶宣言

9月14日、うるま市生涯学習文化振興センター(ゆらてく)にて、秋の全国交通安全運動うるま地区出発式が行われました。沖縄県は不名誉にも飲酒運転検挙件数が全国ワースト1、うるま市だけでもすでに100件を超えているという報告がありました。出発式ではその悪しき習慣を断ち切ろうと、飲酒運転根絶宣言がありました。今年度はその宣言の唱和に本校の2年生島袋愛己さん(写真中央の16番、琉球DEIGOS(デイゴス)女子サッカーチーム所属)が参加しました。



